

旭川

一般社団法人旭川青年会議所 広報誌

2014

2014年度広報誌
発刊にあたって

第64代理事長 牧原 史典

ICE Wonderland2014

第55回旭川冬まつり内で開催

第24回烈夏七夕まつり

第53回旭川夏まつりの最後を飾るイベント

第2回旭川未来創造フォーラム

地域経済活性化とまちづくり

例会の紹介／組織図／
活動の軌跡／インタビュー



2014年度スローガン

勇往邁進

～夢あふれる旭川創造に向けて～

2014年度広報誌 発刊にあたって

我々旭川青年会議所は、1950年11月18日に設立されて以来、様々な青年運動を通じて「明るい豊かな社会」の創造に向けて邁進しております。本年も自分たちが住み暮らすこの旭川を豊かにするための運動を展開しております。戦後間もない時代と現代では政治や経済、そして生活環境は比べ物にならないくらい変化しております。我々青年会議所の運動も時代に合わせて変化してきました。運動指針に掲げている「夢づくり・ひとづくり・地域づくり」のリーダーとして真に豊かな魅力あふれる旭川創造に向けて、各種事業を行ってきました本年度の運動を皆様へご紹介したく発刊致します。本誌を通じて少しでも旭川青年会議所の運動にご理解をいただき、今後ともご協力頂ければ幸いに存じます。

また、現在私たちは75名の会員数で活動しておりますが、随時会員を募集しております。青年会議所は自身の成長に向けての自己投資です。様々な事業を通じて自分たちの「まち」のことを考え、会員間で議論し、時にはぶつかり、普段の日常では経験できないところからお互いの信頼関係が生まれ、真の友情が育まれます。自分たちの「まち」の未来は自らが切り開く。そんな運動を通じて自らの将来も自身で切り開くことができます。そんな青年会議所に少しでもご興味を持たれた方は是非ともお問い合わせください。



第64代 理事長
牧原 史典

広報誌ナナカマドの由来

1964年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが、植樹が契機となり、1976年ナナカマドが、「旭川の木」として制定されました。以上のことからナナカマドは、旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。



ICE Wonderland 2014

平成26年
2月6日(木)～11日(火)

子ども達が積極的に参画。
新たな青少年育成のカタチ。

旭川青年会議所が発信する旭川冬まつりの支援事業、「ICE Wonderland2014」～Love for your Asahikawa～ は2月6日から11日、旭川冬まつりと同会場の旭橋河畔会場にて開催されました。雪が映画館に変身するスノースクリーンの他、無料体験アトラクションとしてスノースケートや氷彫刻体験が行われ、ご家族でもカップルでも楽しめる内容になりました。また、地元高校生との共同作業によるプロジェクトマップも開催しました。

旭川市内の児童が書いた絵を、旭川市内高校生による現場映像制作からイベント司会・管理まで一連の流れのワークショップを行う「プロジェクトマップ制作体験」をしていただきました。今回の体験を機に、旭川から未来のクリエイターが誕生するかもしれません。



担当 冬・夏まつり支援委員会

烈 第24回

夏七夕まつり
伝統への軌跡
～百年後へ紡ぐ創始の想い～



山車



太鼓



踊り

市民と一体となって、
100年続く夏まつりを！

旭川の夏を彩るイベントとして旭川夏まつりが毎年8月第一週に開催されていますが、旭川青年会議所ではその多彩な行事の一環として、1991年より「烈夏七夕まつり」を開始しています。昭和通りで展開される踊り、太鼓、そして大小の行灯を乗せた山車の練行3つの部門構成となる烈夏七夕まつりは、旭川青年会議所のメイン事業の一つとされ、参加する団体や市民の皆様と実行委員会を組織し、担当委員会を含め、全てのメンバーが一丸となり、事務局作業から当日の演出やナレーションまで、各セクションに分かれて担当します。

本年は、よりパワーアップした山車コンテストの開催、太鼓やYOSAKOI フェスティバルの更なる充実などにより、多くの方々に楽しんでもらえる企画をしました。



平成26年
8月2日(土)



北の大地で未来体験2014



福島の子ども達を旭川へ、体験を通じて夢と笑顔を。

全国各地で交流企画を提供するNPO法人「南相馬こどものつばさ」とともに、福島の子ども達を旭川に招き、「北の大地で未来体験2014」を実施致しました。

1日目は職場体験として女の子でお菓子作り体験、男の子は木の時計作り体験してもらいました。

2日目は旭山動物園や旭川市科学館サイパルを見学し、夜は旭川青年会議所が主催する烈夏七夕まつりで山車の装飾や練行を体験してもらいました。

子ども達は元気いっぱい、旭川の夏を楽しみました。

担当 青少年育成委員会

第2回 旭川未来創造フォーラム

2nd Asahikawa Creative Future Forum

テーマ▶ 未来の豊かなあさひかわ創造に勇往邁進!



未来の豊かな旭川を創造

私たちが目指す「豊かさの探求」とは、経済・物質的な豊かさとともに、教育・福祉・自然・文化などの精神的な豊かさをともに探求することであり、私たちと想いを同じくするような人が旭川には存在します。今年の旭川未来創造フォーラムでは、旭川近郊で農家による対面販売「軽トラマルシェ」を展開する、絵本の里けんぶち VIVA マルシェの代表、高橋朋一氏と、医学生の傍らヤングライナーとしての記者活動も行う渋谷夏姫氏をお招きし、それらの活動を紹介するとともに、活動の一層の発展や支援する機運を広げていくためのパネルディスカッションを開催しました。

旭川のまちづくり・人づくりの架け橋に。

旭川ナカマド基金

旭川のまちづくりを応援

旭川青年会議所では、旭川市民の生活・文化の向上に寄与するまちづくり並びに人づくりを目的として活動している団体へ資金助成を行うための基金を設立しています。本基金は旭川青年会議所からの出資金をはじめ、飲料メーカー2社の自動販売機による収益の一部と地元企業や個人からの寄付金が充てられており、対象団体に対し上限として毎年年間30万円の助成を行っています。

担当 政治経済まちづくり委員会

メイン担当 政治経済まちづくり委員会



「協働」をテーマに、旭川の未来を創造。

毎年恒例となっている旭川市長を招いての例会。旭川市と旭川青年会議所がまちづくりを行うにあたり意見交換や互いの方向性を確認し合う場として行われております。

旭川市長の他に、NPO 法人グラウンドワーク旭川 谷川 良一 氏、旭川大学 保健福祉学部 准教授 大野 剛志 氏を招き、「市民参画と協働によるまちづくり」をテーマにディスカッションを行いました。



例会は自己の学びや発信だけでなく、旭川 J C の目的や理事長の所信、付随するさまざまな知識や意識の共有化を図り、明るい豊かな社会の実現に向けて皆で一つの方向に一体となって行動していくための場でもあり、J C 運動の要であり源であります。

次世代育成のためのステップアップ



やさしい心が子どもを育てる。

青年会議所運動の一つの柱として、青少年育成事業の実施に取り組んでおり、今回の例会は、やさしい心の育成を目的として、札幌国際大学心理学研究所所長であります佐々木淑子教授に講師にお招きしました。

例会では、エゴグラムという自己分析ツールを使用して、自分自身の自己分析を行い自らを知ることで、子どもに対しての接し方等に対して学ぶ機会となりました。



“Core”Case of SKM 2014 ～ The way of Asahikawa's economic revolution ～



地域経済活性化のカタチ。

地域経済の活性化をテーマに、これから私たちが世界、日本、北海道を活性化させる足がかりとして、まず我が旭川を活性化させるにはどうすればよいかという事を考えさせられる例会となりました。

地域を活性化させるため、には地域力の向上が必須であり、地域のストロングポイントをチームとして連動すべきことの大切さを気づかされました。

To organization “G to T” ～今いるメンバーで大金星をあげよう～



グループからチームへ！

7 月 8 日（火）旭川グランドホテルにて、7 月第一例会 To organization “G to T” ～今いるメンバーで大金星をあげよう～が行われました。

テーマは “G to T”（グループからチーム）へ。

一人がリーダーシップをとる「グループ」から、それぞれが組織の一員として個性を発揮する「チーム」に発展することで、大きな力となる。そんなチームワークが大切だということを学びました。

新会員セミナー 「3ステップアップセミナー」

日本J C 公認プログラムの セミナーを旭川で開催

新会員と若手経済人を対象にしたスキルアップセミナー
「3ステップアップセミナー」を開催致しました。

(公社)日本青年会議所から公認トレーナーをお招きし、
「Visual Future (VF)」「Community & Communication
(COM&COM)」「J C ゲーム」の計3回のセミナーを通して、
参加者は楽しみながら、自らのコミュニケーション能力、人材育
成・資質の向上に役立てる一助となりました。

担当 新会員・会員研修委員会



2016年度北海道地区大会誘致活動

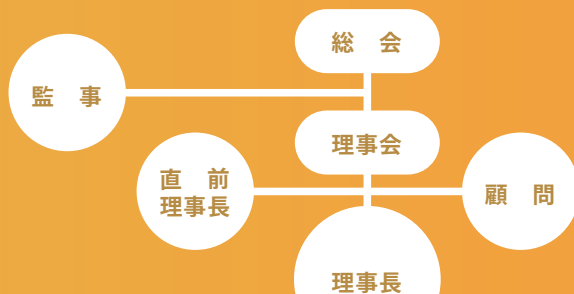
全道の青年会議所が集う 大会を旭川へ。誘致運動

2016年度の北海道地区大会を旭川で開催するために旭川青年
会議所メンバーが全道各地の会議・事業で誘致活動を行いました。

結果は決選投票の末、函館での開催となり残念ながら地区大会
の誘致には至りませんでした。悔しさもありますが、たくさんの
メンバーが地区の事業へ参加したこの経験を前向きに捉えて
しっかりと今後の事業に活かしていければと思います。



2014年度 組織図



2014年度 活動の軌跡



1月

1月第一例会「新年定時総会」「新年交礼会」「卒業生を送る夕べ」
日本J C事業「京都会議」
1月第二例会「市長例会～市長と語ろう市民参画と協働」



2月

2月第一例会 旭川冬まつり支援事業
「ICE Wonderland 2014 ～Love for your Asahikawa～」
新会員セミナー第一弾「Visual Future (VF)」



3月

日本J C事業「復興創造フォーラム 2014」
3月第一例会「新会員仮配属式」・九十九会一泊親睦事業
新会員セミナー第二弾「Community & Communication (COM&COM)」

4月

4月第一例会「夢ビジョン 2010
～理念を実現させるための考え方」



5月

北海道地区協議会事業「第3回北海道J Cフォーラム」
5月第一例会「地区・日本を知ろう!見よう!感じよう!」
5月第二例会「次世代育成のためのステップアップ」
新会員セミナー第三弾「J Cゲーム」

6月

JCI事業「JCI ASPAC (アジア太平洋会議) 山形大会」
6月第一例会「Core Case of SKM 2014 ～ The way of Asahikawa's economic revolution ～」
九十九会親睦事業「一球入魂 ～ピン倒れるレーン創造に向けて～」



7月

7月第一例会「To organization "G to T" ～今いるメンバーで大金星をあげよう～」
北海道地区協議会事業「第45次北方領土返還要求現地視察大会」
日本J C事業「サマーコンファレンス 2014 in 横浜」



8月

8月第一例会 第24回烈夏七夕まつり
「伝統への軌跡～百年後へ紡ぐ創始の想い～」
青少年育成事業「北の大地で未来体験2014」



9月

北海道地区協議会事業「北海道地区大会小樽大会」
2014年度「臨時総会」
2014年度「定時総会」

10月

日本J C事業「全国大会松山大会」
10月第一例会 新会員例会「J Cによる企業活動の応援の可能性について考える」
10月第二例会 第2回 旭川未来創造フォーラム
旭川市長選挙立候補予定者 公開討論会



11月

11月第一例会 一般社団法人旭川青年会議所 第64回創立記念式典
JCI事業「JCI 世界会議 (ドイツ ライプチヒ)」
11月第二例会 卒業生例会

12月

12月第一例会 意気込み例会
九十九会親睦事業 「J Cクリスマスパーティ」

発行者 一般社団法人旭川青年会議所
〒070-0043
旭川市常盤通 1 丁目道北経済センタービル 5 階
TEL (0166) 22-9815 FAX (0166) 26-3235
MAIL room@asahikawa-jc.or.jp
WEB <http://www.asahikawa-jc.or.jp/>

発行人 理事長 牧原 史典
編集 広報・渉外委員会 石川 泰路
印刷 サンプラン

【編集後記】 広報・渉外委員会 委員長 石川 泰路

(一社) 旭川青年会議所 2014 年度広報誌をご覧頂きましてありがとうございました。旭川J Cは真に豊かな魅力あふれる地域の創造に向け邁進していく中で、社会に役立つ自己開発を継続し、地域づくりのリーダーたる情熱と希望を持って日々運動を展開しております。ほんの一部ですが活動内容を手に取りやすい形で紹介させていただきました。

過去の広報誌は
WEB サイトより!



旭川 J C メンバーインタビュー

J C 運動を通じて、同年代の社会人達が、かけがえない友情や信頼関係、自分自身の成長を実感しながら充実した活動をしています！

学校法人菊枝学園 理事長

石田 慶嗣

<2000年度入会>

(株)酒商山田屋 代表取締役

山田 大生

<2011年度入会>

(有)ゼニット 営業

平間 恵子

<2014年度入会>



15年間で得た宝物。

私は大学を終えて実家に U ターンした 3 年目、25 歳での入会でした。延べ 15 年を J C で過ごした事になります。J C では、地元旭川での活動から、道北エリア、北海道地区、そして全国規模での活動がありますが、私は入会 1 年目で当時の荒井副会頭とアフリカに行くなど、地元を離れた活動も多く経験しました。個人、地域、国際、ビジネスなど、様々な機会を提供する J C ですが、一つ私が言えるのは人とのつながりでしょう。つながりが今もつながり続けている事。それが私の宝物です。そして、その宝物は J C を卒業したこれからさらに自分を活かしてくれると思います。



会員拡大とつながり。

私は、4 年前に旭川青年会議所 O B である父の勧めで、入会致しました。

入会してからは、自己研鑽をしながら、40 歳までの限られた時間の中で多くの友人を作ることができる素晴らしい団体だと感じております。

昨年は会員拡大を担当する委員会の委員長として、旭川市内の多くの青年達と出会う事が出来、旭川の将来について熱く語る機会を頂きました。

今後とも人と人とのつながりを大事にしながら、日々出会う皆様に刺激を受けて、わがまち「旭川」のために貢献して行きたいと思います。



出会いに感謝した1年。

札幌から旭川へ転勤となり、この旭川という地で骨を埋める覚悟で、人脈作りとして入会しました。まだ新会員として 1 年を過ごしたのですが、温泉例会、仮配属、新会員例会、アカデミー塾と、いろいろな活動を通じて、いろいろな繋がりや絆、友情が育まれ、とても楽しく思い出に残る 1 年となりました。

自分の存在を認めてくれる方々、自分の居場所はこちらなんだと実感できる。そんな感謝の気持ちを、今後何十年と商いをさせていただくこの地に微力ながら還元してきたいと思っています。

我々と一緒に活動しませんか？

JC の 4 つの機会

青年会議所には、大きく分類して 4 の機会があります。これらは会員に平等にそして必然的に手にする事の出来るものです。この機会を活かせるどうかはあなた次第です。

個人の 機会

Leadership
Development

指導力開発・人間力開発の機会。様々な研修プログラムや活動の中で自己啓発の機会が与えられます。

地域の 機会

Community
Development

社会開発・まちづくりの機会。地域社会との関わりができ、社会奉仕活動をする機会が与えられます。

国際 の 機会

International

国際交流・国際貢献の機会。JCI（国際青年会議所）のメンバーとして、世界と関わる機会が与えられます。

ビジネス の 機会

Business

経済活動・経営開発の機会。日本全国、世界各国の同志と出会うことができ、新しいビジネスの機会が与えられます。

JC は大きな可能性に向けての自己投資です。

他では得られない信頼関係と真の友情を育みながら、私たちのまち旭川の未来をつくりあげて行きませんか？

青年会議所

「Junior Chamber (略：J C)」とは

国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、20 歳（旭川 J C では 25 歳）から 40 歳までの志の高い青年経済人によって構成されています。日本全国 696 の地域に約 33252 人（2014 年 10 月現在）の『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと、率先して行動する仲間がいます。

新入会員募集要項

25 歳～40 歳までの方

旭川市内及びその周辺に居住又は勤務され、所属企業の推薦を受けられる方

定められた例会及び委員会に出席でき、J C 運動に積極的に参画できる方

入会金及び年会費を期日までに納入できる方

※年会費は年度により異なりますので、事務局までお問い合わせ下さいませ。

きっと、あなたの将来に大きな可能性を見出してくれます。

お問い合わせ先 TEL 0166-22-9815 (一社)旭川青年会議所まで